



校報

わきいち

和合協力 気力体力 意志強固 知識探求 創立 明治8(1875)年7月15日

〒010-0342

男鹿市脇本脇本字上野1番地1

男鹿市立脇本第一小学校

TEL 0185-25-2215

FAX 0185-22-2009

HP www2.namahage.ne.jp/~wakiichi

弥生、3月。夢日和。

校長 佐藤 和久

◆私たちが10年前の東日本大震災の余震の大きな揺れに驚き、コロナ禍で感染症と向き合い、健康や社会・経済活動への影響に不安を抱えながら暮らしてまいり、自然界の季節はいつもと変わらず巡り、雪が解け、桜の枝先の芽は静かに春の開花を待っています◆今年の全国一斉の臨時休校から1年が経ちました。学校教育の場では、新型コロナウイルス感染症予防・拡大防止に係る「学校での新しい生活様式」に基づいた取組を進め、マスク着用や手指消毒、換気、3密回避等の対策を継続してきました。この時季になり、今年度思うように教育活動が進められなかった中でも、互いに知恵を出し合い、工夫して教育活動を進めてきた教職員、保護者の皆様、地域の皆様に感謝しながら、これまでにない「日常」を過ごし、日々頑張ってきた脇一っ子たちの健やかな成長を感じています◆校舎には、6年生ありがとう集会に向け、「虹を結んで空のリボン 君の笑顔へ贈り物よ 願いをかけましよう夢日和 明日またしあわせであるように…」(島谷ひとみ『YUME日和』)と、下級生の歌声が明るく、優しく響いています。6年生の教室からは、「いつの日にかまたどこかで会える気がするからね 輝く日々を忘れないで 今始まる 希望の道 今日までありがとうね 思い出の校舎と別れを告げ…」(川嶋あい『旅立ちの日に…』)と、卒業式練習の歌声が重なり合い、調和して響いています◆感謝の気持ちを伝え合い、卒業の晴れの門出を祝福する日はもうすぐです。旅立ちの日に、大きく、大きく膨らんだYUME(夢)を語る卒業生たちと、これから脇一小を力強く引継いでいく在校生たちが共に幸せであるように、私たちも願いをかけることとしましょう。今日から弥生、3月。夢日和。



★1年生活科・おみせやさんごっこ…「いらっしゃいませ!」/「迷っちゃうな?」

◆令和2年度卒業証書授与式◆

- ・期日 3月16日(火)
- ・時間 10:00 ~ 10:50
- ・会場 脇一小体育館
- ・出席 卒業生、ご家族(一世帯2名迄)、在校生、教職員



◆令和3年度入学式◆

- ・期日 4月7日(水)
- ・時間 10:00 ~ 10:40
- ・会場 脇一小体育館
- ・出席 新入生、ご家族(一世帯2名迄)、在校生、教職員



お知らせ ★新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、事前の検温、マスクの着用、手指消毒、会場内の換気等にご協力ください。また、発熱、咳等があり、体調の優れない方は、出席をご遠慮ください。尚、市内小・中学校では、ご来賓の皆様のご招待を遠慮させていただくことにしました。



リサーチ

石の上に立つ子 (昭和50年7月15日 百周年記念像・秋田大学教授/新制作協会会員 阿部米蔵氏 制作)



(註)モニュメントとは、記念碑という意味である。特定の個人を対象してではなく、脇本の子ども全体を対象してつくったものである。

石は土の骨である。母の骨の上に子らは立つ。子ら発して山となり、海となる。北西に発して「さむ風山」の波荒れしとも、風さわぐとも子らはげみ、子ら育つなり。湧き本の山水凝集して子ら育つ。石の骨、土の肉、凝集して子ら育つ。体内に流れ血となり、塩水の暖気と冷気の試練を経て子ら四季の暖気と冷気の試練を経て子ら無限の空間、凝集して子らの全身姿態となる。子らの姿態(精神と肉体)は、すべ成熱な形鍵である。心とからだの未喪生している生命と真実をみる。この一瞬、石の上に立つ平凡な子らの姿態を発見したとき自在となる。

脇一小 Monument
製作趣旨 男の子 創成の表現
女の子 流動的感情の表現



第5回学校運営協議会での話題から



3年社会科・事故をふせぐ…「警察署の取組は～」

今年度5回目の学校運営協議会を開催しました。そして、学校運営協議会委員の皆様からは、学校行事や授業参観、学校評価アンケート(保護者・児童・教職員)結果等を踏まえ、学校関係者評価をしていただきました。多くの貴重なご意見を紹介します。

★確かな学力の育成

学び合う楽しさを実現する教育活動の充実

- ◆コロナ禍の中で、先生たちの努力、保護者の協力でここまで来たことは大変だったと思います。状況はまだまだ続くと思われませんが、いろいろ工夫して取り組んでください。
- ◆とにかく先生方の取組と子どもたちに対する熱意に心から感謝と敬意を表します。様々なアプローチで子どもたちの学力育成のために力を尽くしてくださっているのが分かりますし、先生たちのご苦労された積み重ねこそが、成果と言えると思います。深い振り返りも評価と言えそうです。この1年は本当に大変な期間で先生方のストレスケアも心配です。
- ◆コロナ禍の初年度にあたり、先生方の試行錯誤が伺えました。クラスターが起きなかった点から見ても、取組として良かったのではないかと思います。今後、子どもたちはマニュアルのない時代を生き抜く者として、発想力や想像力が求められます。子どもたちに問題提起をし、自ら考え、自ら発信し、自ら実行する機会を与え、そこに大人たちがサポートする体制を取っていきけるよう、保護者として頑張りたいと思いました。
- ◆コロナ禍により全く経験したことのない「学校での新しい生活様式」の中で、児童の実態、課題、方策、実践と細やかな指導を積み重ねられ、着実に成果が上がってきていると思われまます。読書や本が好きという子どもが増えていく傾向が見られ、手立てがよくなされていると思われまます。
- ◆授業内容を理解してもらうために、道具等を活用し工夫されていると感じまます。学ぶことが楽しいということが学力向上につながると共に、これから成長していく中でとても大切だと思われまます。
- ◆コロナ禍ではありましたが、子どもたちは落ち着いて学習に取り組んでいました。「普段通り」にできることが何より素晴らしいと思われまます。
- ◆新型コロナウイルスの影響で、体験活動等、大変なことも多いと思われまます。また、これからの学びにも、Youtubeやオンライン授業等、変化が出てくることと思われまます。子どもたちのやる気と学びを止めず、大変ですが、がんばってほしいと思われまます。

★豊かな人間性の育成

豊かな心を育てる教育活動の充実

- ◆学校関係者や各種資料の中で、子どもたちは親切で思いやりがある人に育っていると、誰もが感じているのですばらしいことです。
- ◆コロナ禍で制限があったり、注意しなければいけないことが多かったり中、できることや方法を探し、子どもたちへの学びの体験の機会、発表やチャレンジの場を作ってくくださったことに感謝してまます。学校やクラス運営でもみんなで協力して楽しく

過ごしているようです。

- ◆コロナの状況下で子どもたちもいろいろ制限されて大変だと思われまます、そのような苦境の中でも夢や希望をもつ児童が9割近くいることが嬉しいでまます。先生方の努力の成果だと思われまます。ありがとうございます。
- ◆子ども一人一人の居場所があり楽しいと思える学校の姿がよく見えます。保護者との連携もよく信頼されている学校でまます。この環境の中で少しずつ豊かな人間性が培われていくことでまます。
- ◆明るく元気で素直な脇一子でまます。友達と協力し、コミュニケーションをとり、公平に物事を進めていく姿を多々目にまます。素敵でまます。
- ◆学校全体が落ち着いているように感じられまます。先生方が、一人一人をよく見て声がけをしてまます。
- ◆相手を思いやる気持ちを持てる人は、自分に余裕のある人が大半でまます。まずは、自己肯定感、そして、自己有用感!自分を大切に、そして、相手も大切に!脇一子の子もまます、その点では、みんな伸び伸び自分に余裕があるように感じまます。

★たくましい心と体の育成

心通う生徒指導と健康で安全な生活を実現する教育活動の充実

- ◆後期に入り、スポーツ関係の行事が行われて大変良かったと思われまます。今後も予防を講じながら体力づくりに取り組んでください。あいさつは、非常に大事なので、引き続き指導に励んでください。
- ◆保護者アンケートからも、先生方が温かく見守り、子どもたちを導いてくださっていたり、親への対応も熱心に接して下さったりしていると信頼感を感じまます。そうした安心感が子どもたちの心と体をつくる根っこの部分だと評価したいと思われまます。心と体の環境整備を努めてくださり感謝でまます。
- ◆学校内での取組としては、自主的に雪かきやあいさつ運動など、とても頑張っていると思われまます。地域の人々との関わりがあまり持てないため、外で会った時のあいさつは、多少警戒するそうです。今後はその点についても改善策がとれるように話し合えたらいいかなと思われまます。
- ◆この1年、活動の制約が多い中で教職員が一丸となって教育活動を工夫しながら実践され、目標達成のために努力が続けられていることに心から敬意を表しまます。
- ◆コロナ禍の中で、ご配慮等、日々のご苦労、本当に御難儀されていらっしゃると思われまます。感染しないためにも、たくましい体づくりや食育も大事なものです。また、子どもたちには、どのような場面でも自分の考えを臆することのないように発言できる心丈夫な大人に育ってこれればいいなと思われまます。
- ◆ウイルスという目に見えないものとの戦いが続くと思われまます、リスクゼロにはならないまでも、リスクをどうやったら下げられるかを考え、これからはがんばってほしいと思われまます。
- ◆今年は、運動会等で、子どもたちの様子を見るのができず、残念でまます。下校時、散歩する私に元気にあいさつをしてくれる子どもたちに出会うたびにこちらも元気になるでまます。コロナが落ち着いて、行事等に参加できる日を楽しみにしてまます。



長休み時間の1コマ…「すごいジャンプだね!」

ICTの効果的活用に期待！ タブレット端末 1人1台が揃いました

国の教育施策・GIGAスクール構想(多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、子供たち一人一人に公正に個別最適化され、資質・能力を一層確実に育成できる教育ICT環境の実現)により、本校でも校内無線LANが整備され、児童1人1台のタブレット端末が導入されました。現在、次年度からの本格的活用に向け、市教委等による教職員へのICTを有効活用した教育実践に係る研修が進められています。今後、個に応じた学習や情報収集・記録、考えの整理・発表、多様な表現等のツール(道具)として活用していきます。(註)*「GIGA」とは「Global and Innovation Gateway for All」の略*「ICT」とは「Information and Communication Technology」の略*「LAN」とは「Local Area Network」の略



タブレットが保管されている電源キャビネット

なかよし班！ 掃除にも、遊びにも仲良く！

1～6年生までを縦割りにして編成されている「なかよし班」では定期的に活動をしています。コロナ禍で、なかよし班での楽しい給食は叶いませんでしたが、ウォークラリー等の学校行事の他に、昼掃除をしたり、昼休み時間に遊んだりしています。

上級生が下級生に教えながら掃除をする姿や一緒になって遊ぶ姿は、いつ見ても微笑ましいものです。近々、卒業する6年生には下級生から感謝のメッセージカード贈られます。「ちりとり、OKだよ!」「ありがとう!」



「ちりとり、OKだよ!」「ありがとう!」

ごちそうさま！ 6年生、調理で腕振るう！

アスパラガスのベーコン巻きに、エノキ茸のベーコン巻き、シーチキンハンバーグ等々。家庭科室内に美味しい香りが広がりました。最近、6年生による家庭科調理実習があり、グループ毎に計画した食事の副菜を役割分担しながら手際よく作っていました。包丁さばきも、フライパン等の用具使用も手慣れたもの。家庭科で制作したミシン縫いのエプロンもばっちり決まっていた。勿論、できあがりの副菜の味は抜群においしかったです。「火傷しないで!」「アスパラ、これでいい?」



「火傷しないで!」「アスパラ、これでいい?」

- 子どもたちの五七五...**
- ♥ストーブの近くに物をおかないよ (3年 ○○○○さん) いつも火の用心で!
 - ♥守ろうよ横だんほどうをわたること (3年 ○○○○さん) いつも交通安全で!
 - ♥両親にしかられうるさいと思うけど思い返せば私への思い (6年 ○○○○さん) 親御心、分かってくれてるね!
 - ♥たまごやきカレー・シチューにハンバーグおいしい料理をいつもありがとう (6年 ○○○○さん) 感謝だね!
 - ♥つたえたい感謝の気持ちありがとう思い返せばとても幸せ (6年 ○○○○さん) 幸せ返したいね!
 - ♥ありがとうと思っているが言い出せず夢を叶えて親喜ばす (6年 ○○○○さん) 分かる、分かるよ!



(丸数字は学年・敬称略)

★令和2年度男鹿市スポーツ賞

〈奨励賞(団体)〉

- ◎脇本おいばなラグビースクール低学年
- ◎脇本おいばなラグビースクール中学年

〈奨励賞(個人)〉

- ◎吉田 拳斗 (柔道)①
- ◎吉田 愛斗 (柔道)③



★第37回秋田市少年U-11フットサル大会兼パーモントカップ秋田市予選

- ◎準優勝 グロースFC

お知5せ ★学年末PTAへの参加、ありがとうございました。尚、次年度のPTA役員選出については、各学年でまとまり次第、事務局までお知らせ願います。
★3月に実施予定だった市教委主催の「中学準備教室」と「小・中学生の男鹿みなど市民病院訪問」は、中止となりました。

3月の学校行事予定

1日	月	学校安全日・各種点検日、ALT学校訪問⑬
2日	火	6年生ありがとう集会
4日	木	町内児童会④、PTA執行部会(18:00～)
5日	金	体育館水拭き・ワックスがけ
8日	月	ALT学校訪問⑭
11日	木	卒業証書授与式予行
15日	月	ALT学校訪問⑮
16日	火	卒業証書授与式、ALT学校訪問⑯
19日	金	修了式(全校4校時限)、PTA会計確認検査会
22日	月	春季休業(～4/3)
23日	火	PTA会計監査会(13:00～)
26日	金	離任式(全校出校日)

4月の学校行事予定(主なもの)

5日	月	児童生徒休業日
6日	火	新任式、前期始業式、春の交通安全運動
7日	水	入学式
21日	水	PTA授業参観・総会・学年懇談会
30日	金	入学おめでとう集会

◆この紙面の情報は、2月19日現在のものです。今後、新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点等から更に変わる場合がありますのでご承知おきください。

★問い合わせ★ 男鹿市立脇本第一小学校
TEL 25-2215 FAX 22-2009 (教頭まで)

《特集 故きを温ねて新しきを知る》

明治から令和の「卒業式・修了式」

明治初期から県小学校則や小学生徒試験手續並試験方法の定めにより、毎月末の小試験と6ヶ月毎の進級(修業)試験にあたる定期試験、卒業認定試験にあたる大試験が行われました(*2) ▼進級・卒業認定には、試験での及第点、規定の出席日数、品行方正等が参考にされました(*2) ▼男鹿地区でも授業料負担があった明治初期からの就学率は低く、明治後期になり9割以上の就学率を示しました。しかし、家庭での労働(家業・弟妹の子守り等)等のために出席率の向上もなかなか進まず、就学督促とともに家庭訪問や賞与による出席奨励も行われました(*2) ▼卒業と修業の証書授与式は同時に行われました。現在のように卒業証書授与式と修了式を分ける形式にちかくなった時期は、学校沿革史(大正末期から戦前もの不明)からは判明しません(*1) ◆【参考…脇本小学校関連(*2)・明治期の就学率〔明治13.1)21.28%、(明治18.7)34.33%〕・明治期の在籍生徒数〔(明治9)21余人、(明治10)32余人、(明治15)145人、(明治18)92人〕・明治～昭和期の出席率〔(明治14.1)91.60%、(明治17.1)79.87%、(大正5)93.39%、(昭和5)97.24%〕

〈大正7(1918)年3月28日〉 卒業證書修業証書授与式ヲ挙グ。来賓四十名。豫定ノ通り終了シ後、卒業生ニ對シ村ヨリ茶菓ノ郷食アリキ。考査人員ニ對スル各歩合ヲ左ニ示サシ。

	考査人員	進級児童	優等児童	落第児童	精勵児童
男	三六八	九四.八四	一三.五九	五.一六	一五.〇
女	二六二	九〇.〇八	一四.七四	九.〇二	一三.三
計	六三〇	九二.八六	一六.〇三	七.一四	一四.四

備考 連続原級者 三.三三 (*1)

〈大正8(1919)年3月28日〉 修了式卒業式ハ例ニヨリ行ワレ、歩合左ノ如シ。

	考査人員	進級児童	優等児童	元級児童	精勵児童
男	三五五	九六.〇六	一九.一五	五.六一	一一.三六
女	二五六	九四.九二	二一.四九	七.〇三	一一.五〇
計	六一一	九五.五八	二〇.一三	七.二二	一一.一一

備考 欠席ノタメ元級児童ハ 四.五八 (*1)

〈昭和57(1982)年3月11日〉 六年生を送る会、在校生により開かれる。〈全 3月18日〉 卒業証書授与式挙行。九十一名卒業す。市教委より登藤総務課長、鎌田P.T.A.会長、小山田、天野、伊藤の三副会長、伊勢本郷会長、民生委員 柏木繁、加藤与志雄、沢田忠利の三氏、卒業生父母、列席。厳肅盛大、感銘深いものあり。〈全 3月19日〉 修了式(*1)

〈昭和59(1984)年3月13日〉 在校生により六年生を送る会、図書室であり。午後、六年生により謝恩会あり。〈全 3月14~15日〉 男鹿海洋センター体育館で卒業式予行を行う。〈全 3月16日〉 卒業式、男鹿海洋センター体育館で行う。四年生以上出席す。卒業式場構成にP.T.A役員尽力す。〈全 3月21日〉 男鹿海洋センターで修了式を行う。体育館倒壊のお見舞金でラジオカセット二台購入す。(*1) ※2月20日、豪雪のため体育館が倒壊した年度

〈昭和60(1985)年3月2日〉 卒業・進級を祝う会、午前中に開く。父母参観者あり。〈全 3月18日〉 卒業式、午前十時より新体育館で行う。〈全 3月20日〉 修了式を行う。〈全 3月23日〉 体育館前通路工事始まる。(*1) ※新体育館とは、現在の体育館のこと

〈平成10(1998)年3月18日〉 卒業式・フロアに演壇を下ろし、中央に花を飾る新しい形の卒業式を実施。市教委から教育長出席。来賓として出席した市長が、退場する卒業生一人一人と握手。(*1)

〈平成13(2001)年3月16日〉 卒業証書授与式〔保護者60名参加〕開式時刻：午前10時 終了時刻：午前11時10分 所要時間：70分〔来賓；教育委員会より日黒教育委員長職務代理者、県議会議員の加藤義康氏、前阿部校長、男鹿東中学校長の佐藤校長、加藤与治兵衛氏、市議会議員の高桑國治氏 ほか総勢19名〕・午後1時より；6年部主催の『卒業を祝う会』(寒風山ドライブイン)、戸田、今井の6年部担任が出席。(*1)

〈平成20(2008)年3月13日〉 卒業証書授与式 6年梅組21名(男12、女9)、桃組21名(男12、女9)計42名卒業 来賓として、高橋金一教育長他27名来校 ・1、2年は休業日(*1) ※脇一小と脇二小とが統合した年度

〈令和2(2020)年3月16日〉 6年生卒業式事前練習・式内容確認 8:10~11:00 ・6年生通知表配付 ※校舎内ドアノブ、取っ手、6年教室、消毒 ※盆栽、プランター、スタンドフラワー等搬入 〈全 3月17日〉 卒業証書授与式10:00~11:00 秋田魁新報社男鹿支局 三浦ちひろさん取材のため来校 〈全 3月27日〉 離任式、修了式(教室において) (*1) ※3/2~19 新型コロナウイルス感染症拡大防止策による全国一斉臨時休校

【出典・参照文献】 *1 脇本第一小学校『学校沿革史』 *2 男鹿市史編纂委員会『男鹿市史上巻』(1995.3.31)

◆ご家族、地域の皆様、新型コロナウイルス感染症拡大の収束が見通せない中、健康には十分留意なされ、どうぞご自愛ください。 STOP! 感染拡大 COVID-19

〈明治9(1876)年7月13日〉 当校第七級及八級両級ノ生徒二十一名ヲ試験ス。優等満点ノモノ十三名、落第ノモノ三名ナリキ。〈全 8月〉 小学校則ヲ撰定セラレ、小学校ヲ分チテ下等上等トシ、各等ヲ分チテ八級トシ、毎級六個月間ノ習業ト定メ、卒業(即チ修業ヲ云フ)ノモノハ試験ヲ經テ昇級セシム。(略) 〈全 11月〉 各小学校試験手續及試験方ヲ達セラレ。乃、試験方ヲ分テ大試験、小試験トスルコト、及其手續ノ詳細、証書ノ書式、各学科ノ採点方ヲ詳細ニ定メラル。

〈明治10(1877)年3月〉 下等六級生八名、七級生七名、八級生十七名、定期試験ヲ執行セリ。優等五名、落第三名ナリシ。(*1)

〈明治22(1889)年3月〉 明治二十一年度定期学級試験ヲ、当三月廿日ヨリ三月二十三日迄ノ日割ヲ以テ施行セリ。其卒業修業人、各左ノ如シ。
尋常小学校卒業生徒数 八名
修業生徒数 八十三名
學力優等人数 二十七名
人物優等人数 三名 (*1)



〈明治24(1891)年4月28日〉 修業卒業証書授与セリ。其人数如左。
簡易卒業生 五十三人
補修生修業証書授与者 三十四人
簡易二年修業 四十七人
一年修業 八十四人 (*1)



〈明治25(1892)年3月17日〉 学年大試験、本日ヨリ施行セリ。〈全 3月26日〉 証書授与式ヲ施行セリ。其與証人数如左。
及第生 百九十五名 落第生 八十九名
優等生 十六名 (*1)

〈明治34(1901)年3月23日〉 証書授与式挙行。概況、午前九時ヨリ生徒、職員、来賓一同式場ニ参列(一同敬礼)校長、式ノ執行ヲ告ゲ、修業生(修業ノ唱歌)ヲ合唱シ、修業生一同ニ証書ヲ與へ、次ニ卒業生(卒業ノ歌唱、合唱)ニ卒業證ヲ与へ、次ニ賞品授与ヲ終へ、更ニ校長、試験ノ模様並ニ将来ニ付、告示スル所アリ。尚卒業生ニハ特ニ将来ノ学業、品性等ニ付、諭示シ、卒業生ノ答辭ニテ式ヲ了ヘタリ。(*1)

〈明治38(1905)年3月23日〉 卒業及修業証書授与式挙行。落合助役、天野元金 吉田天弥ノ議員参列。式了リテ茶話會ヲ開キ、高等卒業生ニ茶菓(五代儀職員ヨリ)ヲ馳走セリ。(*1)